OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.58 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1987, 58
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21227
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

＜編　集　後　記＞

超伝導遷移温度（T_c）が急上昇して、関係者は大騒ぎです。

A「3月末から4月始めの学会シーズン。どこの学会も関係セッションは超満員だったですね。」

B「予定時間をはるかに越えて、講演・討論が続いたそうですね。」

A「大変な好機だと思って、私のグループも材料をつくっていろいろ測定しました。今も頑張っています。同じなら踊らにゃ、という心境ですね。」

B「続けて来た研究を急に放り出して、やる気になれませんでした。ゴールドラッシュを思いだしましたよ。」

A「やるからには、常温超伝導材料を見出して、統一的説明を与えて、ノーベル賞をとりたいですね。」

B「あんまり逸り過ぎて、故意に過ったデータの発表をしないで下さいよ。」

こんな会話がキャンパスでも学会場でも、あちこちで聞かれました。

本誌の編集委員会でも話題になったことは言うまでもありません。

低温センターも新しい時代を迎えることになるのかも知れないな、とふと思ったりしました。

（山本雅彦）

・低温センター運営委員の一部交代について

産業科学研究所　中村勝吾氏より中島尚男氏へ

・センター長、副センター長の交代について（4月1日付）

低温センター長　　三　石　明　善（工学部）

副センター長　　伊　達　宗　行（理学部）

次号に運営関係者リストを掲載します。

・低温センターだより編集委員の追加

工学部電子工学科　　谷　口　研　二氏

大阪大学低温センターだより　第５８号
昭和６２年５月　発行

編集責任者　樽　田　孝　司
発　行　者　大阪大学低温センター
吹田分室　大阪府吹田市山田丘２番１号
電話（06）877－5111　内線4105
豊中分室　大阪府豊中市待兼山町１番１号
電話（06）844－1151　内線2162

印　刷　所　阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川３丁目６番４号
電話（06）443－0936（代表）

目　　次

No. 5 8

研究ノート

ダイヤモンドの話……理　学　部　萩原　政幸……1

超塑性変化における粒界すべりの役割……工　学　部　古城　紀雄……4

強制冷却超電導導体の安定性……低温センター　山本　純也……7

超電導線材を用いた磁気遮蔽の研究……産業科学研究所　西嶋　茂宏　岡田　東一……11

実験メモ

低温での機械的試験のための試料交換法……工　学　部　片岡　俊彦……15

昭和61年度寒剤供給状況……17

表紙の図説明：超電導線材を用いた板状磁気遮蔽体。二枚の銅板を銅パイプで連結し、その間に超電導線材でできた編目状遮蔽体を配置している。遮蔽体の剛性を持たせるためと、安定性を持たせる目的で、銅のパイプでヘリウムの流路を確保しつつ断面二次モーメントを大きくしてある。また使用した超電導線材は連続の一本の線材である。（本文11ページ参照）